

官民共創プロジェクト推進セミナー ～逆転の発想による企業と自治体の新しい出会い方～

地域・社会課題が多様化・複雑化する中、自治体単独での課題対応が困難になっており、地域で持続的に課題解決を行うためには、官民が連携して、地域・社会課題解決と収益性の両立を目指す取組（地域と企業の持続的共生=CSV経営）を促進し、地域経済の活性化を実現する必要があります。今回は、そういった背景や官民共創に取り組む意義、官民共創を進めるに当たってのアドバイスなどをテーマに、オンラインセミナーを開催しました。

◆セミナー（2023年8月8日・オンライン）

I. 「地域・社会課題と企業と公共～今、何が起きているのか～」 （ソーシャル・エックス 代表取締役 伊藤大貴氏）

- 政府の方針とこれまでの動きについて
- 海外の官民共創先進事例
- 社会課題がビジネスとして成立するための3条件
- 「逆プロポ」の仕組みと事例の紹介
- 「逆プロポ・コンシェルジュ」による社会課題の言語化
- 官民共創を“新しい当たり前”、“文化”として浸透させる教育プログラム



II. 「枚方市における公民連携の取り組みについて」 （枚方市政策推進課 担当者）

- 「逆プロポ」活用に至る経緯と事例
- 「逆プロポ」から始まった事業の主な流れ
- 「逆プロポ」事業に取り組んだことによる市内における変化
- 公民連携を推進する立場での所感

◆参加者からのコメント等（参加者164名）

- ◎実際に現場で起きていた障害や問題に対し逆プロポの何が画期的だったのか、また導入行政の中で何が行われていたのかを知ることができ大変参考になりました。
- ◎地域貢献をしたいと思っている企業の一つです。このような取り組みがあることを、わが町の行政担当者にも伝える方法がわかりました。
- ◎「官民共創」という今からの社会に大事でありながら、まだまだ注目度が少ない分野の詳細を知ることができた。
- ◎自治体間の悩みは同じであり、職員は減り業務は増える一方なので、参考となった。
- ◎(株)ソーシャル エックスについて良く知ることができ、また逆プロポという活動の存在を知ることができた。また、官民共創は現在黎明期で、将来当たりの取り組みになるという伊藤様のお話に力づけられた。
- ◎社会的課題を民間がビジネスに変える仕組みのダイナミックな動きがよくわかった。
- ◎官の担当者の意識がかなり重要だと思われるので、その様な人材をその部署に長期配置必要。
- ◎官民連携を行なった経験のある自治体の声を聴く良い機会となった。

※原文のまま記載

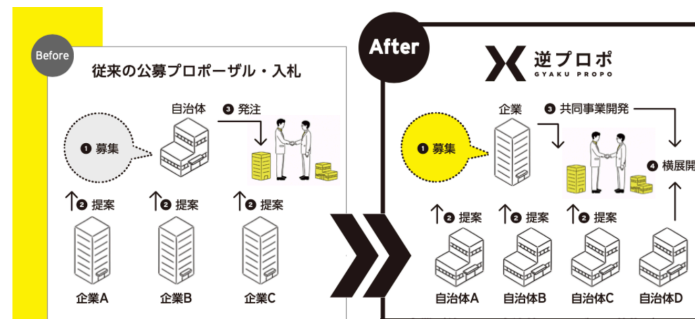
GOOD DESIGN AWARD
2021年度受賞

逆プロポ
GYAKU PROPO

新規
事業開発

CSR
CSV

企業が関心のある社会課題を提示し、それに対して自治体が課題解決のための企画やアイデアを提案する共創サービスです。従来の公募プロポーザルの流れを逆転させることで、熱意のある企業と自治体が目録の高さを合わせながら良質なプロジェクトを組成できます。



出所：伊藤氏の講演資料をもとに作成

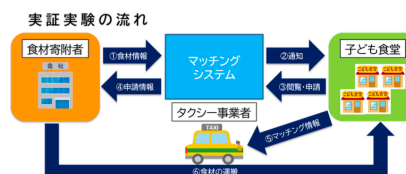
<枚方市による「逆プロポ」活用事例>



「安全な交通環境・社会の実現」を目指す
イデアデザイン損保との逆プロポ



「デザインやエンタメで交通課題を解決」
Humorousとの逆プロポ（国交省PJ）



「子ども食堂DX」
ワイヤレスゲートとの逆プロポ
出所：枚方市の講演資料をもとに作成

満足度（割合：％）

